



お知らせ

資料特別整理期間のため、休館します。

2017年2月20日(月)から2月24日(金)まで資料特別整理期間のため、休館いたします。この間、所蔵資料の点検、紛失資料の有無の確認、資料の整理などの作業を行います。

長期にわたる休館となり、利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

報告

平成28年度 国際子ども図書館 児童文学連続講座

2016年11月7日(月)～11月8日(火)の2日間に渡り、国立国会図書館国際子ども図書館で開催された平成28年度児童文学連続講座に参加しました。ここに、受講報告をいたします。

総合テーマ「子どもに本を手渡すために—児童文学基礎講座」

講座1 児童文学とは何かというとても難しい問題 (日本女子大学教授 川端 有子講師)

「児童文学」とは子どもが読むと想定して書かれたもの、といっても売り買いするのも書くのも出版し評価するのも大人であるという特殊性を持つ。児童文学という言葉から受け取るイメージは実は人によって様々で曖昧なものである。なぜなら子どもとは大人が定義した概念であり、それは時代と共に変化してきた。同じように文学も時代と共にその概念は推移するものであるからだ。だが、子どもは文学を読むときに歴史、文化などの社会的背景は考えない。そこで、子どもの本の特殊性として共読者の存在を取り上げた。共読者たる大人の読者は、子どもよりも作品及びその背景等を知っているものであり、時には子どもの読書の助けとなるよう行動することができる。行動するかしないかは共読者の裁量によるが、読書をめぐって、その背景を知っている大人がいるということは、より理解を深めるため大事なことなのだと話された。

講座2 日本の児童文学—「声」の時代、「声」のわかれ (武蔵野大学教授 宮川 健郎講師)

「幼年童話」について「声」が聞こえてくることの重要性を話された。1959年に石井桃子が佐藤さとる『誰も知らない小さな国』を読み聞かせに向かないと批判したことを挙げ、現代の児童文学が「声」「語り」とわかれ、黙読で読む児童文学中心であると解説された。現代児童文学と一般の文学との境が曖昧になった今、「声」が聞こえる幼年文学が求められている。石井桃子の「声」を求める動きに立ち返るべきか。現代児童文学の中でも、「声」が聞こえてくるとして、石井睦美、竹下文子、市川宣子、岡田淳の作品を紹介され、「声」の文化にいたると思われる小学校中学年までは出来るだけ大人が読んであげてほしい、と語られた。

新刊案内

『ぼくらは壁を飛びこえて サークスでつながる人種・民族・宗教』 シンシア・レヴィンソン／著 金原 瑞人／訳 文溪堂 779.5/レウ

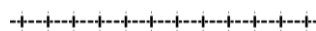
アメリカ合衆国のセントルイス・アーチズとイスラエルのガリラヤ・サーカス。前者は家庭事情も異なる黒人と白人の子どもたち、後者は対立する民族であるアラブ人とユダヤ人の子どもたちで構成されています。サーカスを通して恐怖が尊敬に、反感が信頼に変わっていく様子を伝えるノンフィクションです。中学年から。

『わたしたちが自由になるまえ』 フーリア・アルバレス／著 神戸 万知／訳 ゴブリン書房 933/アルハ

アニータは独裁政権下のドミニカで暮らす 12 歳の少女。1960 年、父と叔父が反体制派に加わったため、家族はバラバラになり、母と二人秘密警察に追われる身となってしまいます。自由を求める人々の闘いに巻き込まれながらも、大人へと成長するアニータの 1 年を描きます。高学年から。



2 月 の 行 事



ストーリーテリング勉強会 (毎月第2水曜日) 2月8日(水) 9:30～12:00	子どもの本の読書会 (毎月第2木曜日) 2月9日(木) 10:00～12:00 『 水はみどろの宮 』 石牟礼 道子／作 山福 朱実／画 福音館書店
Lim Lim 赤ちゃんのためのおはなし会 (毎月第3水曜日) 2月15日(水) 10:30～11:00 「 おやこでぎゅっ 」	おはなしのじかん (毎週土曜日) 2月4日、11日、18日、25日 11:00～11:30 ※2月11日は祝日ですが、17:00まで開館します。
ブックトーク勉強会 (毎月第3金曜日) 2月17日(金) 10:00～12:00	子ども読書室の展示 「 むかしむかし 」 「 いぬとねこ どっちがすき 」

上記の行事の会場は、いずれも県立図書館子ども読書室です。



伝 言 板



「マオ猫」「わにわにシリーズ」でおなじみの

山口マオ講演会

日時:2月18日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)

場所:須崎市立市民文化会館 大会議室

参加費:700円(前売券 500円)

対象:高校生～一般成人、

その他読み聞かせに携わる方など100名程度

チケットお求め先:須崎市立図書館、須崎市生涯学習課、

須崎市立市民文化会館 他

問い合わせ先:かわうその里おはなしの会

TEL 0889-42-2141

第五回 大人の楽しむおはなし会

日時:3月11日(土) 12:55～15:00

場所:四万十町立図書館 本館 2階 会議室

参加費:無料 対象:大人 ※要申込み(定員25名)

駐車場:四万十農業共済組合高幡 NOSAI センター(四万十町
茂串町381番地1)の裏の駐車場をご利用ください。

問い合わせ先:

本館(四万十町茂串町9-20)TEL 0880-22-5000

大正分館(四万十町大正380)TEL 0880-27-1193

児童図書館研究会 高知支部 定例会

日時:2月20日(月) 13:30～15:30

場所:NPO法人高知こどもの図書館

(高知市永国寺町6-16)

問い合わせ先:南国市立図書館 武市 TEL 088-863-0469

ちいさいひとたちのための絵本とおはなしにであう会

日時:3月1日(水) 10:30～11:00

場所:江ノ口市民図書館 4階和室

(高知市愛宕町1丁目10番7号)

参加費:無料 対象:乳幼児とその保護者

問い合わせ先:江ノ口市民図書館 088-873-7600

伝言板は、子どもと読書に関する催し物などを掲載します。前月20日までにお知らせください。

県立図書館子ども読書室 TEL 088-872-6307 FAX 088-872-6479